



日本化薬株式会社  
整理番号：  
作成年月日：2016年 1月20日  
改訂年月日： 年 月 日

## 安全データシート フーモン

### 1 製品名及び会社情報

製品名： フーモン  
会社名： 日本化薬株式会社  
住所： 東京都千代田区丸の内2-1-1  
担当部門： アグロ事業部  
電話番号： 03-6731-5325  
FAX番号： 050-3730-8045  
緊急連絡先 平日昼間 アグロ事業部(電話番号 03-6731-5325)  
休日・夜間 鹿島工場(電話番号 0479-46-2753)  
メールアドレス： agro.info@nipponkayaku.co.jp  
用途及び使用上の制限： 農薬（殺虫剤）

### 2 危険有害性の要約

#### GHS分類

物理化学的危険性：	引火性液体	区分外
	自己反応性化学品	分類できない
	自然発火性液体	分類できない
	自己発熱性化学品	分類できない
	水反応可燃性化学品	区分外
	酸化性液体	分類できない
	金属腐食性物質	分類できない
健康に対する有害性：	急性毒性（経口）	区分外
	急性毒性（経皮）	区分外
	急性毒性（吸入）	分類できない
	皮膚腐食性／刺激性	区分外
	眼に対する重篤な損傷／眼刺激性	区分2B
	呼吸器感作性	分類できない
	皮膚感作性	区分外
	生殖細胞変異原性	分類できない
	発がん性	分類できない
	生殖毒性	分類できない
	特定標的臓器（単回暴露）	区分外
	特定標的臓器（反復暴露）	分類できない
	吸引性呼吸器有害性	分類できない
環境に対する有害性：	水生環境有害性(急性)	区分3
	水生環境有害性(慢性)	区分3

#### GHSラベル要素

絵表示： なし  
注意喚起語： 警告

## 安全データシート フーモン

危険有害性情報：	眼刺激 水生生物に有害 長期継続的影響により水生生物に有害
注意書き： [安全対策]	取扱い後は手や暴露のおそれのある皮膚、あるいは眼をよく洗うこと。 必要な時以外は環境への放出を避けること。
[応急措置] 眼に入った場合：	水で数分間注意深く洗うこと。次にコンタクトレンズを着用していて容易に外せる場合は外すこと。その後も洗浄を続けること。 眼の刺激が続く場合、医師の診断／手当を受けること。
[廃棄]	内容物／容器を都道府県知事の許可を受けた専門の廃棄物処理業者に委託処理すること。

### 3 組成、成分情報

単一製品・混合物の区別：	農薬製剤（混合物）
化学名（主要成分）：	ポリグリセリン脂肪酸エステル
化学式又は構造式：	$RO-(CH_2-CH(OR)-CH_2-O)_n-R$ R = 脂肪酸残基 又は 水素原子、n = 平均約10 (平均分子量：3446)

#### 成分及び含有量

成分	含有量 (%)	CAS番号	官報公示整理番号 化審法 安衛法
ポリグリセリン脂肪酸エステル	82.5	9007-48-1	7-1145 -
その他（製剤成分）	17.5	営業秘密につき非公開	

危険有害成分： 特に知られていない。

### 4 応急処置

眼に入った場合：	清浄な水で15分以上注意深く洗眼する。 コンタクトレンズを着用していて容易に外せる場合は外し、その後も洗浄を続ける。 眼の刺激が続く場合は、医師の診断／手当てを受ける。
飲み込んだ場合：	吐き出させ、直ちに医師の手当てを受ける。 使用中に身体に異常を感じた場合には医師の診断を受ける。
皮膚に付着した場合：	汚染された衣類を脱ぎ、多量の水及び石鹸でよく洗い落とす。 皮膚刺激または発疹が生じた場合は、医師の診断、手当てを受ける。 汚染された衣類を脱ぎ、再使用する場合には洗濯する。

## 安全データシート フーモン

- 吸入した場合： 空気の新鮮な場所に移し、呼吸しやすい姿勢で休息させる。  
多量の水、温水またはうがい薬を用いてうがいをし、医師の  
手当てを受ける。
- 応急処置をする者の保護： 救助者はゴム手袋と密閉ゴーグルなどの保護具を着用する。
- 医師に対する注意事項： 特別な解毒剤は知られていない。  
症候に基づく標準的対応をする。

### 5 火災時の処置

- 消火剤： 乾燥砂、炭酸ガス、泡消火剤(適宜、状況に応じて使用する)
- 使ってはならない消火剤： 冷却の目的で霧状水を用いても良いが、消火に棒状水を用い  
てはならない。
- 火災時の特定危険有害性： 火災によって毒性のガスを発生するおそれがある。
- 特定の消火方法： 消火作業は、可能な限り風上から行う。  
火災発生場所の周辺は、関係者以外の立ち入りを禁止する。  
速やかに容器を安全な場所に移す。  
移動不可能な場合は、周辺または容器に散水し、冷却する。  
消火のための放水等により、環境に影響を及ぼさないよう、  
適切な措置を行う。
- 消火を行う者の保護： 消火作業の際は、適切な保護具(呼吸保護具、化学用保護衣  
等)を着用する。

### 6 漏洩時の処置

- 人体に対する注意事項： 漏洩した場所の周辺にロープを張るなどして、関係者以外の  
立ち入りを禁止する。  
処理時には適切な保護具を着用し、吸入したり、手足、顔な  
どに付着しないようにする。  
風上から作業し、風下の人を避難させる。
- 環境に対する注意事項： 漏出(飛散)した製品が河川等に排出され、環境への影響を及  
ぼさないように注意する。
- 除去方法： 吸収剤等に吸収させ、密閉できる容器に回収する。
- 二次災害の防止： おが屑のような可燃物を吸収剤として使用しない。  
火花を発生しない、安全な器具を使用する。  
付近の着火源となるものを速やかに除くと共に、消火剤を準備する。

### 7 取扱い及び保管上の注意

- 取扱い
- 技術的対策： 取扱い場所の近くに、緊急時に洗顔及び身体洗浄を行うため  
の設備を設置する。  
皮膚、粘膜または着衣に触れたり、眼に入らないようにする。

## 安全データシート フーモン

注意事項：	保護手袋、保護衣、保護眼鏡、保護面等、適切な保護具を着用する。 火気を避け、過熱したり、摩擦、衝撃を与えない。 静電気対策のために、装置、機器などの接地を確実に行う。 工具は火花防止のものを用いる。
安全取扱注意事項： 保管	取り扱う場合には、局所排気又は全体換気の設備のある場所で行う。 酸化剤、酸、塩基などと接触しないように取り扱う。
適切な保管条件：	子供の手の届かない場所に容器のまま保管する。 通気の良い場所で容器を密閉して保管する。 冷暗所に保管する。 食品や試料と同じところに保管しない。 火気、熱源より遠ざける。 アルカリ性物質とは同一場所に保管しない。 酸化剤並びに酸化性の強い物質との保管は避ける。

## 8 暴露防止及び保護処置

管理濃度：	設定されていない
設備対策：	できるだけ密閉された装置、機器または局所排気装置を使用する。 取扱場所の近くに、洗顔及び身体洗浄のための設備を設ける。
保護具	
呼吸器用の保護具：	有機溶剤用保護マスク、送気マスク、自給式呼吸器
手の保護具：	保護手袋
目の保護具：	保護眼鏡(普通めがね型、側板付き普通めがね型、ゴーグル型) 保護面(防災面)
皮膚及び身体の保護具：	保護服、保護長靴、保護前掛け、長袖作業着

## 9 物理的及び化学的性質

外観	
物理的状态：	液体
色：	淡黄色
臭い：	微エステル臭
pH：	6.0～8.0
物理的状态が変化する特定の温度/温度範囲	
沸点：	データなし
融点：	データなし
引火点：	300℃以上
爆発限界：	未測定

## 安全データシート フーモン

比重： 0.97 (20℃)  
蒸気圧： 未測定  
溶解性： メタノール等に可溶

### 1 0 安定性及び反応性

安定性： 通常の取扱い条件では安定である。  
反応性： 塩基性物質、酸性物質により加水分解を受ける。  
避けるべき条件： 酸性物質、塩基性物質との混触禁止。  
危険有害な分解生成物： 一酸化炭素、炭酸ガス

### 1 1 有害性情報

急性毒性：経口 ラット LD<sub>50</sub> 雌、> 2000 mg/kg (区分外)  
急性経口毒性試験において、2000 mg/kg投与で死亡例がなく、  
毒性の臨床所見も軽度であったことから、ヒトの健康に対し  
て急性的な影響が示唆されないため、区分外とした。

経皮 ラット LD<sub>50</sub> 雌雄、> 2000 mg/kg (区分外)  
急性経皮毒性試験において、2000 mg/kg投与で死亡例がなく、  
毒性の臨床所見が認められなかったことから、ヒトの健康に  
対して急性的な影響が示唆されないため、区分外とした。

吸入(ミスト) 各成分とも情報なし (分類できない)

皮膚腐食性・刺激性： ウサギを用いた皮膚刺激性試験において、刺激性変化が認め  
られなかったため、区分外とした。 (区分外)

眼の重篤な損傷・刺激性： ウサギを用いた眼刺激性試験において、結膜の発赤、浮腫、  
分泌物が認められたが、72時間で完全に消失したため、区分  
2 Bとした。 (区分 2 B)

呼吸器感受性： 各成分とも情報なし (分類できない)

皮膚感受性： モルモットを用いた皮膚感受性試験(Buehler法)において、  
投与量100%で、惹起開始24時間後及び48時間後に陽性反応  
が認められなかったため、区分外とした。 (区分外)

変異原性： [ポリグリセリンオレイン酸エステル]  
復帰変異、陰性 (区分外)  
[その他(製剤成分)]  
情報なし (分類できない)  
変異原性に関する情報のない成分を1%以上含むため、分類  
できない。 (分類できない)

発がん性： [ポリグリセリンオレイン酸エステル]  
ラット及びマウスを用いた反復経口暴露試験において、対照  
群との差が認められないため、区分外とした。 (区分外)  
[その他(製剤成分)]  
情報なし (分類できない)

## 安全データシート フーモン

発がん性に関する情報のない成分を1%以上含むため、分類できない。	(分類できない)
生殖毒性：	各成分とも十分な情報がないため、分類できない。
特定標的臓器毒性(単回)：	特定臓器に対する毒性の臨床所見が認められていないため、区分外とした。
特定標的臓器毒性(反復)：	特定の臓器に対する毒性について詳細な情報が得られないため、分類できない。
吸引性呼吸器有害性：	各成分とも情報なし (分類できない)

### 1 2 環境影響情報

#### 生態毒性

水生生物：	コイ	急性LC <sub>50</sub>	47.4 mg/L(96時間)
	オオミジンコ	急性遊泳阻害EC <sub>50</sub>	273 mg/L(48時間)
	緑藻	生長阻害E <sub>r</sub> C <sub>50</sub>	539 mg/L(72時間)
水生環境急性有害性：	魚類に対する急性影響に基づき、区分3とした。		
水生環境慢性有害性：	急速分解性に関する情報はないが、魚類に対する急性影響データに基づき、区分3とした。		

### 1 3 廃棄上の注意

残余廃棄物：	特別管理産業廃棄物処理基準に従うこと。 廃棄する場合は、都道府県知事の許可を受けた専門の廃棄物処理業者に委託処理すること。
汚染容器、包装：	下水道、いかなる水域、土地にも投棄してはならない。 容器・包装等を廃棄する場合は、都道府県知事の許可を受けた専門の廃棄物処理業者に委託処理すること。 使用した器具を洗浄する際、環境や水の汚染を避けること。 空容器を再利用してはならない。

### 1 4 輸送上の注意

国際規制 陸上輸送：	非該当
海上輸送：	非該当
航空輸送：	非該当
国連分類：	非該当
国連番号：	非該当
品名(国連輸送名)：	非該当
国内規制 陸上輸送：	非該当
海上輸送：	非該当
航空輸送：	非該当
特定の安全対策及び条件：	容器が破損しないように、混載するときは注意すること。 取り扱い及び保管上の注意事項に留意する。



日本化薬株式会社  
整理番号：  
作成年月日：2016年 1月20日  
改訂年月日： 年 月 日

## 安全データシート フーモン

### 1 5 適用法令

農薬取締法：	適用（登録番号：23741）
消防法：	指定可燃物 可燃性液体
毒物及び劇物取締法：	非該当
労働安全衛生法：	非該当
化学物質管理促進法：	非該当
高压ガス保安法：	非該当
化審法：	原材料は登録済み

### 1 6 その他の情報

記載内容の問合せ先：	アグロ事業部 03-6731-5325
改訂の記録：	作成 2016年 1月20日
引用文献：	国際連合 化学品の分類および表示に関する世界調和システム(GHS)(改訂5版) 社内データ

記載内容は現時点で入手できた資料や情報に基づいて作成しておりますが、含有量、物理化学的性質、危険・有害性等のデータや評価に関しては、いかなる保証をなすものではありません。すべての化学製品には未知の有害性があり得るため、取扱いには細心の注意が必要です。ご使用者各位の責任において、安全な使用条件を設定下さるようお願い申し上げます。また、記載事項は通常の実施を前提としたものですので、特別な取扱いをする場合には新たに用途、用法に適した安全対策を実施のうえ、お取扱い願います。

以上